

多

職種連携 第4回

白山・美杉『顔の見える会』

今回のテーマ

『介護サービスを利用したくない家族と同居している 日常生活が困難な認知症高齢者を支援したい！』

～あなたの経験を生かしたアドバイスを求む！～



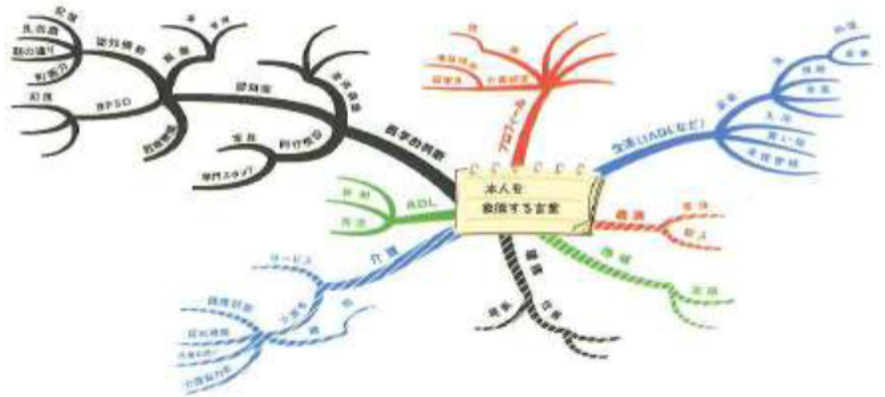
日時◆ 平成27年2月18日(水)18:30～20:00

場所◆ 白山保健福祉センター(白山町川口)

内容◆ 保健・医療・福祉の専門職と地域住民が連携した支援策検討&交流会

～「見え検マップ」を使って見える事例検討をしよう～

「見え検マップ」って？
事例検討で扱う情報を整理し検討していくツールです。一枚のマップに整理していくことで、支援困難な要因に対して解決の糸口が見えてきます。



「白山・美杉 顔の見える会」は、この地域で活動する保健・医療・福祉に関わる職員が、高齢化が進んでも安心して暮らしていける地域を目指すために、お互いに顔の見える関係になって連携しようと立ち上げた団体です。

昨年7月に「白山・美杉 在宅ケア みんなで考える集い」を開催し、専門職だけで地域を守ることはできず、地域住民の方々とも連携し、人の絆を活かして暮らしを守っていくことを学びました。このことから、民生委員・児童委員や生活・介護支援サポーターなどにも参画いただき、連携して支援策を検討します。



参加費◆ 100円 当日に受付にてお支払いください。

お申込み◆ 不要(多数のご参加をお待ちしております)

お問い合わせ先◆ 県立一志病院 運営調整部 井端 (TEL 262-0600 FAX 262-3264)

本会は地域を大切にする方々がボランティア意志に基づく活動をおこなうものです。